

個々の進路実現目指して

・・・高校3年生が分かっていないといけないこと

個々の進路実現目指して

個々の進路実現を目指す上で分かっておいてほしいことが高校3年生にはいっぱいあります。以下で、ざっと見ておきたいと思います。

今、大切なこと

そろそろ部活動も引退し、全力で受験勉強に取り組む時期ですね。学習に向かう心と体の準備は整っているでしょうか。そして何より、学習計画は立てられているでしょうか。学習スタイルが変わるのですから、あれもこれもやろうとすると失敗につながりやすいです。大切なのは、「やらなければならないこと」と「やれること」を混同しないことです。時間は有限なのですから、「やれること」を着実に実行して、少しずつ実力を向上するしかありません。すべてのことを薄く広くやってしまうと、結果、何も身に付いていないということになりかねないのです。

学校推薦型・総合型選抜や面接試験と調査書

くわしくは6月下旬の進路ガイダンスでお話ししますが、どこの学校であれ、出願するには、「募集要項」という書類を取り寄せるところから始めなければなりません。基本的に、各自取り寄せです。そして出願には「調査書」という書類が必要になります。これも各自がまず担任に請求しますが、調査書は今日頼んで明日にももらえるような書類ではありません。また、大学出願は、厳格かつ公平なルールで行われますので、メ切日を守れなければ書類も受けとってもらえません。ネット出願についても同じです。さらに自分の受けようと思っている学校が面接や小論文を実施するならば、自分で自覚して練習をするなり先生方に見てもらわないと、なかなか難しい分野です。自己推薦書を書く場合も同じです。

まとめてみると、100人いれば100人とも進路が違うため、**すべて「自分で調べて、自分で取り寄せて、自分で動く」これが原則になります。**このことを頭に置いて、出願するにはどういう準備をすればいいのか、面接試験を受けるにはどういう準備をすればいいのかを把握しておいてください。

自分の強みを分析して活かす

特に上で述べた学校推薦型選抜や総合型選抜の受験を考える人は、教科の力以外に、志望理由書、活動報告書、面接・小論文・プレゼンテーションなど、大学によって形は変わりますが、「**自分は授業や課外活動でどんなことを行い、何を学んだか**」、また「**大学ではどんなことを学び、それを活かして将来どんなことをしたいのか**」が重要になります。ですからじっくりと自分の強みを分析して相手に伝えられるように準備しておいてください。この強みを把握し、高い意識を持って挑み、合格を勝ち得た先輩も多いです。

共通テスト

「共通テスト」も、3年生ならではの概念です。受験するのは来年の1月ですが、出願は9月末です。そして途中で進路が変わったからといって、当日になって受ける科目を変えたりできません。物理が必修の大学、地歴・公民の選び方に制限のある大学などありますから、自分が受けようと思っている大学を総合的に見て判断しなければなりません。例えば第1志望校が数学Ⅰで受けられるからといって勝手に数学をⅠAから数学Ⅰに変えてしまうと第2、第3志望校が受けられなくなることが起こり得ます。まず**受験科目を固定できる**よう、じっくり考えてください。

模試の受け方

6月以降の3年生の模試は9月のベネッセ駿台共通テスト模試記述（一貫文理必修）を除いてすべて希望者受験です。申し込みを忘れたら受けられません。模試は大きく分けると、マーク回、記述回が交互に行われ、ドッキング判定してくれるものと、個別大オープンに分けられます。ですから受け方のアドバイスは次の3点です。

- ①まず、どの時期に自分はどの模試を受けるかを決めます。模試は受験に時間をとられますから、受けすぎてももったいないし消化不良になります。といってまったく受けなかったら自分の現在地を見失ってしまいます。適度を選んでください。
- ②次に、模試までに何を伸ばすかを考え、学習計画に組み込んでいきます。漢文の句形を見直す、漸化式の分野を総復習する、理科の2科目めについて入試問題集に着手する・・・などいろいろあります。
- ③そして いくら模試の回数が増えても、解答解説を見て解き直しをしてこそ自分の学力の向上につながります。「80点とれた」でなく、「20点もどんどころを間違えたのか、勘違いなのか、ケアレスミスなのかそれとも本質がわかっていなかったのか」、ここが大切です。ですから模試の重みは1、2年生以上に増していきます。

最近気になること

最後に、3年生のみなさんについて、最近、気になることがあります。それは**模試や夏期講習の申し込み忘れや、科目の変更やキャンセル等が非常に多い**ことです。これはとても憂慮すべき事態です。Classiでの申し込みについては、配信とは別に教室掲示や要項配布も行っていますし、注意事項や科目選択の考え方も記載されています。従って、事前にそれらをよく読み、理解して申し込んでいれば、これほど多くの追加や訂正が生じるはずがないのです。高校内での作業であればまだ訂正等が可能ですが、これが大学への出願や入学手続きであれば、追加や変更は一切できません。「うっかり忘れていた」「よく理解していなかった」ために、大学を受験することすらできなくなるということが、本校でも過去に実際に起こっています。

また、問題なのが、締切日を過ぎてから変更したり、相談したりするという姿勢です。期限は決まっているのですから、わからないことや気になることがあれば、締切りより前に確認しておくのが当然です。それができていないということは、おそらく学習においても同じことが起こっています。模試や定期試験のたびに、「あれができていなかった」「これが間に合わなかった」と思っているのではありませんか？ **スケジュールをしっかりと確認し、気になることや、わからないことは、事前に細部まで明らかにしておくこと。**これが社会の基本的なルールであり、学習においても非常に大切なことです。